

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年9月24日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機 浄化ユニットB漏えい検知器監視用Webカメラの監視不能について】 当直員が、6号機中央制御室において、6号機 浄化ユニットB漏えい検知器監視用Webカメラの監視不能を確認。設備所管箇所によるケーブル接続端子等の点検を実施し、一時的に監視可能となったが、再度監視不能となった。応急処置として、他の浄化ユニット監視用カメラ(制御盤用)と入替を行い、監視可能。入替の監視用カメラ(制御盤用)の代替えの監視方法は、近傍に設置の別なWebカメラで監視可能であり問題なし。今後、当該Webカメラを交換予定。</p>	GⅢ	9月16日
2	<p>【6号機 計装用空気圧縮機(A)モーターベースの締付ボルト部の割れについて】 協力企業作業員が、6号機 計装用空気圧縮機(A)の点検に伴い、モーターベースの目視検査により、締付ボルト部に割れを確認。 原因は、経年劣化による損傷と推定。 現在、予備機の計装用空気圧縮機(B)が運転中のため、系統への影響なし。 今後、当該モーターベースを交換予定。</p>	GⅢ	9月16日
3	<p>【5号機 非常用ディーゼル発電機(A)過給機入口ケースの浸透探傷検査による指示模様の確認について】 協力企業作業員が、5号機 非常用ディーゼル発電機(A)の計画点検に伴う浸透探傷検査により、過給機入口ケースのガス仕切り部に幅寸法約5mmの指示模様(※)を確認。 現在、5号機 非常用ディーゼル発電機(A)は、計画点検により非待機中であり、系統への影響なし。 メーカーより提出された指示模様除去検査判定要領に従って作業し、再度、浸透探傷検査を実施した結果、指示模様が現れなかったため継続使用可能と判断。</p> <p>※ 指示模様:溶接部の表面キズ</p>	GⅢ	9月17日